

平成28年 6月 1日

那須塩原市長 君 島 寛 様

那須塩原市水道事業審議会
会 長 太 田 正

那須塩原市水道事業計画(那須塩原市水道事業ビジョン)の策定について(答申)

平成27年8月4日付け那塩水第152号で諮問のありました那須塩原市水道事業計画(那須塩原市水道事業ビジョン)の策定について、下記に基づく考えのもと各委員による真摯な審議の結果を受け、別冊のとおり策定しましたので答申します。

記

水道は、市民生活、そして経済活動に欠かすことのできないライフラインであり、安全で良質な水道水をいつでもどこでも安定的に供給していく必要があります。

このような中、那須塩原市水道事業を取り巻く環境は大きく変化し、本格的な人口減少社会の到来による給水収益の減少する一方で、事業創設からこれまで整備拡張してきた水道施設の老朽化も進んでおり、中長期の視点に立った効率的な施設の更新など投資費用の増加が見込まれるほか、人材の育成、技術の継承では専門知識の更なる修得及び業務経験のより一層の蓄積が求められています。この他、災害に強い水道事業の構築など、水道事業の抱える課題は年々厳しさを増していくものと見込まれます。

これらを踏まえ、「安全」、「強靱」及び「持続」の3つの観点から水道事業の抱える課題に対する対応策と目指すべき方向性を示し、「市民に信頼される水道」をスローガンに将来を見据えた事業計画を立案するとともに、より効率的な水道事業の運営を目指し、那須塩原市水道事業ビジョン(案)を策定しました。

本ビジョンに掲げる理想像に対する実現方策を展開するにあたっては、今後の水道事業を取り巻く情勢の変化や技術革新にも柔軟に対応していく必要があります。将来にわたり健全な経営を維持し、安全で安心な水道水を供給していくためには、中長期的な財政見通しのもと、適切な料金体系への改定も視野に入れながら着実に方策を実行し、「経営の安定化」を図られていくことに、特段の配慮をされることを要望いたします。